

発行 日本労働組合総連合会岩手県連合会  
(連合岩手) 発行人 佐藤 伸一

〒020-0022 盛岡市大通一丁目1番16号 岩手教育会館4F  
TEL (019) 625-5505 FAX (019) 623-1105  
印刷 川口印刷工業(株)

## 「働く者のための『働き方改革』をすすめよう」 第89回メーデー岩手県中央集会を開催



晴天のもと多くの組合員が参加した県中央メーデーで挨拶する八幡実行委員長

2018年5月1日、第89回メーデー岩手県中央集会を盛岡市・盛岡城跡公園（岩手公園）で開催しました。スローガンは「平和・人権を守り、あらゆる差別をなくそう」「働く者のための働き方改革をすすめよう」、組合員、家族、OB・OGなど約3,000人が結集しました。

連合岩手の佐藤伸一事務局長が進行し、まずは八幡博文実行委員長（連合岩手会長）が挨拶しました。メーデーの起源にも触れつつ、働き方改革関連法案の課題も指摘しました。

続いて、来賓を代表して永田有労働局長、達増拓也岩手県知事、谷藤裕明盛岡市長、砂金良昭岩手労福協副会長（労金岩手県本部）から祝辞をいただきました。

その後、今年度初めて「メーデー昔と今」という朗読劇を青年委員会が披露しました。続いてお楽しみ抽選会、コンクール審査、メーデー宣言採択、ガンバロー三唱を実施、予定通り2コースに分かれ、盛岡市中心部をデモ行進しました。

実行委員長あいさつ



# 底上げ・底支え・格差是正を 全ての労働者に波及させよう

実行委員長 八幡 博文(連合岩手会長)

おはようございます。ただいまご紹介いただきました、実行委員長を務めます連合岩手の八幡でございます。

第89回岩手県中央メーデーにご参集いただいた労働者、ご家族そして多くの市民の皆さんに心から感謝と御礼を申しあげます。ありがとうございます。

また、今日は、公務ご多忙の中、永田有(たもつ)岩手労働局長、達増拓也岩手県知事、谷藤裕明盛岡市長をはじめ、政党代表、組織内および推薦議員の皆さん、そして先程ご紹介致しました多くのご来賓の皆様にご臨席いただきました。参加者全体の大きな拍手でここからの歓迎と感謝をお伝えしたいと思います。よろしく願いいたします。ありがとうございます。

みなさん、改めてとはなりますが、メーデーのはじまりは今から132年前の1886年5月1日にアメリカのシカゴで1日12時間から14時間勤務の労働環境の改善を求めて労働者がゼネラルストライキを起こし、8時間労働の実現を要求した事に由来し、以降労働者が集まり権利を主張する日として、ヨーロッパをはじめ各地に広がったのがメーデーであります。

日本においては、1920年5月2日に第1回メーデーが東京の上野公園で開かれました。その後、第二次大戦中は開催が禁止されましたが、戦後、再び開催されるようになり、労働者の地位や労働条件の向上や、権利の拡大をはじめ人権・労働基本権の確立、民主主義の発展、恒久平和の希求などその役割を果たしてきました。

このような位置づけによるメーデーは、現在においてもその役割はますます重要となってきたものと再認識しながら、本集会を意義あるものにしたと存じます。

さて、先週末に報道発表いたしました、2018春季生活闘争は、2014年からの月例賃金改善にこだわった要求の継続と、また一昨年から「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組みを更に強化し、特に中小そして非正規労働者の処遇改善をど真ん中に据え取り組んでまいりました。その結果、本県においてもその実績が現れつつあり、中小においても大手にそん色のない率での決着が現れてきております。また、非正規労働者の賃上げも正規を上回る妥結率となってきております。人手不足感が強まる中での人材の確保も大きな要因とは言えますが、それよりもむしろ将来を見据えた労使の責任ある真摯な交渉の結果であり、その結果を未解決組合や未組織労働者への波及に

つなげていきたいと思っております。

また、連合は昨年来、長時間労働の撲滅を訴え、「クラシノソコアゲ運動」の重要な一つのテーマとして運動を展開してきております。

先月末の厚労省の発表によれば、違法残業など法令違反が疑われる事業所が66%確認されており、中でも36協定を結ばないまま残業させたり、労使で定めた上限時間を超えた違法残業はそのうち半数以上に上っています。このような状況にも関わらず私たちが強く求めている時間外労働の上限規制は、未だに実現されず、政府・与党は、財界からの要請が強い、裁量労働制の拡大はデータ改ざんの影響で取り下げたものの、高度プロフェッショナル制度の創設という、長時間労働と矛盾した内容を含んだ中で、先行きは見通せない状況にあります。

私たちは、これ以上長時間労働による犠牲者は1人も出してはならないとの強い思いで、「高度プロフェッショナル制度」を法案から削除する中で、「真に労働者のための働き方改革」を実現すべきと再度、訴えておきたいと存じます。

加えて、現状の国政の状況は、異常事態であり、公文書の改ざんや日報の隠蔽、そして疑惑への政権の対応が極めて不誠実なことから起こっていることは、皆さんとも認識が合うところだと存じます。疑惑の解明はもちろんです。国民生活の安心・安定のためにも、安倍政権に1日も早く引導を渡してほしいと思うのは私だけではないでしょう。そのためにも、追求する野党においては、主権者である国民の意向に最大限「忖度」していただき、理念と政策も大事ではありますが、より大きなかたまりを指向しつつ、「敵を見誤ることのないよう」更なる結束を強く求めるものであります。

最後に、東日本大震災から7年経過し復興工事は着実に進展しておりますが、各被災地あるいは被災者個々の様々な課題はまだ山積しているものと捉えています。それらの課題解決に向けては、被災地・被災者に寄り添いつつ風化をさせない取り組みと合わせ継続した運動を展開していくことを重ねて申し上げ、主催者を代表しての挨拶といたします。

第89回メーデー万歳！すべての労働者の団結に万歳！  
ありがとうございました。





コンクール最優秀賞は JR 総連



永田局長のあいさつ



達増知事のあいさつ



谷藤市長のあいさつ



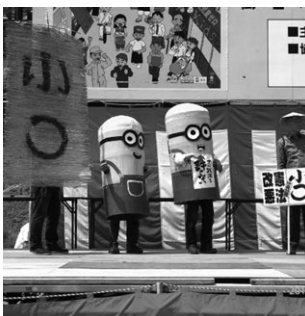
砂金本部長のあいさつ



1等 はスチームオープンレンジ



今年は2コースのデモ行進



コンクール特別賞



青年委員会朗読劇

## メーデー宣言

私たちは本日、第89回岩手県中央メーデーを開催した。

メーデーは、米国の労働者が1日8時間労働を求めてゼネストに立ち上がったことを起源としている。世界の働く仲間がこの日に集い働く者の権利を求め、団結と連帯を誓いあった。改めて、性別や世代、産業や雇用形態などの違いを乗り越え、すべての働く仲間や生活者、労働組合、関係団体、NPO/NGOなどが連帯することの大切さを認識し、次の時代に引き継いでいこう。

東日本大震災の発生から7年、熊本県を中心とした九州地震から2年が経過した。今なお多くの人たちが、不自由な生活を強いられている。また、被災地では子どもたちの心のケア、高齢者の孤立死、若年層を中心とした人口流出など、様々な課題が山積している。震災を風化させず、被災者に寄り添い、防災・減災の取り組みとあわせて、被災地の復興・創生に向けた継続的かつ幅広い運動を展開していく。

日本社会は、未だ長時間労働や後を絶たない過労死・過労自死、雇用形態や性別などの違いによる格差問題などが深刻化している。春季生活闘争における「底上げ・底支え」「格差是正」の取り組みを社会全体に波及させるとともに、安心と信頼の社会保障制度の確立をめざしていく。真に働く者の立場に立った「働き方改革」を実現し、誰もが健やかで安心して働き続けることができる社会を今こそ創ろう。

世界では、北朝鮮による核開発や米国の「核態勢の見直し」、中国やロシアの軍拡化、さらにはテロリズムの台頭等、安全保障上の緊張感は高まっている。核兵器の廃絶と世界の恒久平和に向けた運動を強化するとともに、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成のために、政府や経営者団体との取り組みとあわせて、国際労働組合総連合（ITUC）やNPO/NGOなどと連携し、すべての人が平和と人権を守り、豊かさを享受できる世界をめざしていく。

わが国の政治は今まさに正念場にある。戦後世界を支えてきた自由や民主主義という規範が揺らぐ中、その根幹に関わるような出来事が続いている。この危機を乗り越え、健全な民主主義を取り戻すために、先頭に立って努力することを誓いあおう。

私たちはメーデーの起源を心に刻み、すべての仲間の連帯で、「ディーセント・ワーク」と「ワーク・ライフ・バランス」の実現に向けて、全力を挙げて取り組むことをここに宣言する。

2018年5月1日  
第89回岩手県中央メーデー

# 「支え合う地域、支え合う労働者が」

## 9会場でメーデー地区集会を開催、地



### 花巻北上

午前9時30分から、北上市「さくらホール」大ホールで集会を開催、約550名が参加しました。ワークルークイズを出題、正解者には復興支援品「米粉パスタスナック」をプレゼントしました。



### 胆 江

午後1時30分から奥州市「胆沢文化創造センター」大ホールで集会を開催、約850名が参加しました。マジックショー&バルーンアートのパフォーマンスで盛り上がりました。



### 釜 石

釜石・遠野地協は釜石市と遠野市の2カ所で開催しました。釜石地区集会は、午後6時から「釜石市民ホールTETTO」で集会を開催、約280名が参加しました。愛のカンパを実施し、子ども向けプレゼントも用意しました。

### 一 関

午前10時から一関市「文化センター」中ホールで開催、約300名が参加しました。暑いくらいの好天に恵まれ、デモ行進に汗を流しました。





# 『クラシノソコアゲ運動』を牽引する！

## 地域の復興のために多様な取り組み

### 気 仙

午前10時30分から、大船渡「盛川河川敷公園」で集会を開催、約300名が参加しました。愛のカンパを呼びかけ、ワークルークイズを出題し、抽選会も実施しました。



### 宮 古

午前10時から宮古市「宮古駅前西広場」で集会を開催、約180名が参加しました。

推薦議員の竹花市議、畠山市議が挨拶し、一緒にデモ行進を行いました。



### 久 慈

県北地区は、久慈市と二戸市の2カ所で開催しました。久慈地区集会は、午後3時から久慈市「巽山公園」で開催、約70名が参加しました。開会では全員でメーデー歌を歌いました。



### 遠 野

遠野地区集会は、午後1時30分から「遠野市民センター体育館」で開催、約90名が参加しました。集会後はプラカードを掲げ、市内をデモ行進しました。



### 二 戸

二戸地区集会は、午後6時15分から「二戸教育会館」で開催、約100名が参加しました。

「復刻タマゴパン」を配って、会社に再雇用された労働者を支援しました。



「震災復興とクラシノソコアゲへ 分野を超えた連携2年目の取り組み」

被災地とともに県全体の復興を見据えた「地域フォーラム」



主催者あいさつをする神津会長



達増知事

4月21日新装なった岩手教育会館で、連合岩手主催「震災復興&クラシノソコアゲ地域フォーラム2018」を開催し、連合各構成組織をはじめ自治体関係者、商工団体、一般県民等330名に会場いただきました。

連合岩手は、連合が全国で取り組んでいる地域フォーラムを、「震災復興」「クラシノソコアゲ」とともに一体的に進めています。昨年は初めて「震災復興&クラシノソコアゲ地域フォーラム in 岩手三陸」という名称で、大船渡市で開催しました。2年目に当たる今年度は、盛岡市で神津里季生連合会長をお迎えし、達増拓也岩手県知事の特別講演もいただき開催いたしました。

連合岩手の八幡会長は、主催者を代表し、各方面からの協力のもと開催した昨年のフォーラムを起点とし、少なくとも5年間は継続して取り組む決意を述べました。神津連合会長は、自身が事務局長時代にこのフォーラムを提起したこと、格別な想いを抱いていること、実現にこぎ着けてくれた連合岩手を始めとする地元関係者に感謝していることを語り、今後も続く活動にエールを送りました。

達増知事は「復興、人口、働き方」というテーマで特別講演を行って下さいました。岩手県の課題を端的に示すタイトルの通り、復興が進む中、求人倍率や就職率は

徐々に上がってきているものの、産業構造の変化に対応し人手不足解消に向けた「働き方改革」の重要性を示唆しました。そしてご自身の考えとして、イクボス宣言や子育て支援など様々なことをしてきたが、全ては「岩手の幸福度を上げよう」と思って取り組んできたことと語りました。

この後、岩手大学人文社会学部の杭田俊之准教授が基調講演を行い、復興への取り組みが、地域づくり・人づくりに移ってきていることを指摘しました。さらには、沿岸部のフィールドワークの経験から「クラシ」と一体となっている働き方・教育・医療・福祉が総合的に検討される必要性を説き、そこから新しい地域の姿を構築してゆく「プラットフォームづくり」が始まると強調しました。

また「自立」と「心の復興」をつなぐ雇用を考えよう～をテーマに、実際に沿岸部の復興に携わる3人のパネリストが「私の提言」を発表しています。

宮古市社会福祉協議会より有原領一さん、釜石リージョナルコーディネーターより手塚さや香さん、三陸鉄道株式会社より中村一郎さんにお話をいただきました。有原氏は、生活困窮者の現状を現場からの目線で報告し、経済的であれ精神的であれ「孤立」がその根底にあるこ

# 「自立」と「心の復興」をつなぐ雇用を考える 「私の提言」を3人のパネリストが発表



とを指摘しました。手塚さんは、自分も含め震災をきっかけに移住した人々が、復興後に今のようなやりがいのある仕事があるだろうかという正直な気持を持っていることを述べ、岩手らしさを掘り下げた多様な働き方への転換を模索中と語りました。中村さんは2019年への期待を表明、2019年は「沿岸が三陸鉄道でつながり、日本一長い鉄道になる」「三陸防災復興プロジェクトの観光イベント」「ラグビーワールドカップ釜石会場」の3つが重なるからです。社員一丸となって努力中、とアピールしました。

最後に、神津会長は本日得た様々な“気づき”についてあげられました。クラシノソコアゲは知事の言うところの「幸福度」で測るのがよいのではないかと、労働は賃金のためと考えがちだが社会への貢献という面を忘れてはいないかと、などです。そして、AIの活躍が期待される将来、「人とのつながり・地域とのつながりの意味」「人間らしい働き方とは何か」を、復興からその先へと進もうとする岩手とともに考えていきたいという決意を述べていただきました。

ZENROSAL NEWS 0318A003

お車の車検の際は

## 全労済の

# 自賠責共済

自動車損害賠償責任共済

をご利用ください。

お気軽にお近くの支所までお問い合わせください

**全労済 岩手推進本部**  
岩手県労働者共済生活協同組合

保障のことなら

**全労済**

全国労働者共済生活協同組合連合会

盛岡支所 019-622-0631 一関支所 0191-26-2678

北上支所 0197-65-0160 釜石支所 0193-21-1122

**3ステップでラクラク！ スマホで手続きが簡単！！**

**ステップ1**

「車検証」と「自賠責共済(保険)証明書」をスマホのカメラで撮影、保存しておく。

**ステップ2**

上のQRコードを読み取り、入力フォームへ  
<https://zenrosai-wate.jp/>

**完了**

岩手県内の金労済のお店より確認の連絡があります。後日、証明書をお届けし、お手続きとなります。

**完了**

保存しておいた「車検証」と「自賠責共済(保険)証明書」を添付し、必要項目を入力して送信を押す。

●ドメイン設定(受信拒否設定)をされているお客さまへのお断り  
ドメイン設定(受信拒否設定)をされているお客さまの場合、メールが正しく届かないことがあります。  
ドメイン設定を解除していただくか、またはドメイン(zenrosai-wate.jp)を受信リストに加えていただきますようお願いいたします。  
※ご利用になる場合は、各支所までお問い合わせください。  
※お申し込みいただいた個人情報は、自動車共済の加入案内に付して、各種共済サービスのご案内に利用させていただきます。  
※個人情報取り扱いに関する詳細は全労済ホームページ(https://www.zenrosai.co.jp/)をご覧ください。



# 「連合岩手と岩手大学 2018年度提携講座開講 4年目をむかえ、学生の反応や質疑が充実」



今年の講師陣を紹介（4月12日）

連合岩手と岩手大学は「2018年度連合岩手と岩手大学との連携講座」（担当教員：河合墨准教授）を4月12日に開講（全15回）しました。講座は全学共通単位認定科目として実施され、約200名の学生が対象です。

働くことをとりまく「ブラック」「ハラスメント」「長時間労働」など様々なワードが注目される中、連合岩手はこれから就職する学生たちにワークルール、労働基本権、労働組合、労働問題の事例など、だれもが労働者として向き合うであろう課題を学ぶ場として、2015年に講座を始め、4年目を迎えました。

今年度の講師陣はかなり多様な顔ぶれであり、連合岩手からは、会長・事務局長・副事務局長・青年委員長を始め、岩手県東北電力総連会長の鈴木圭さん、岩手県教職員組合委員長である佐藤淳一さん、公務員連絡会の自治労岩手県本部書記長である伊藤裕一さん、自動車総連岩手地方協議会議長の志賀弘基さんなど、多彩な講師が登場します。労働福祉団体からは、東北労働金庫岩手県本部副本部長の菅原芳勝さん、全労済岩手推進本部事務



毎回多くの学生が熱心に聴講

局長の赤坂徹さんにも労働者福祉について講話いただきました。

また、岩手労働局監督課長の宮崎一彦さんや岩手県雇用対策・労働室室長の八重樫浩文さんなど行政の立場からの講義、会社経営の立場から（株）ホップス代表取締役の工藤昌代さんにも登場いただきます。

学生からは、毎回質問があり、時間が足りない分は記入して提出してもらいました。毎回たくさんの感想、意見、質問があり、講師陣には苦心して回答いただきました。近年の労働環境について見聞きしている学生も多く、自分や友人の例をあげての質問や、労働局の仕事内容への質問、また労働組合の活動に理解を示す意見や批判的な意見など、本当に多様な若い世代の考えが寄せられました。本講座で、連合岩手は「働くことを」を学ぶ機会を学生に提供しています。同時に、学生に「働くことを軸とする安心社会の実現」を担うことを期待し、取り組みを続けます。

教育ローン〈よりそい〉

Yo・Ri・So・I



東北労働金庫

奨学金でお悩みの方、ろうきんにご相談ください。

奨学金を返済中のみなさまへ

ろうきんでは、奨学金返済の負担を考え、返済見直しのご相談に応じています。

現在、学校進学の際、利用した「奨学金」について、利用者の返済が困難になっていることが大きな社会問題になっています。そこで、（ろうきん）では、低金利でご利用いただける「奨学金借換え融資制度」をご準備し、お客様に親しみをもってご利用いただくために愛称を「教育ローン Yo・Ri・So・I（よりそい）」いたしました。（ろうきん）はこれからもはたらく方々によりそい、「生活応援バンク」として、豊かで安心して暮らすことのできる社会をめざします！

2018年4月1日現在

0120-1919-62  
（受付時間：平日 午前9時～午後5時）  
<http://www.tohoku-rokin.or.jp>



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。